

Suiden

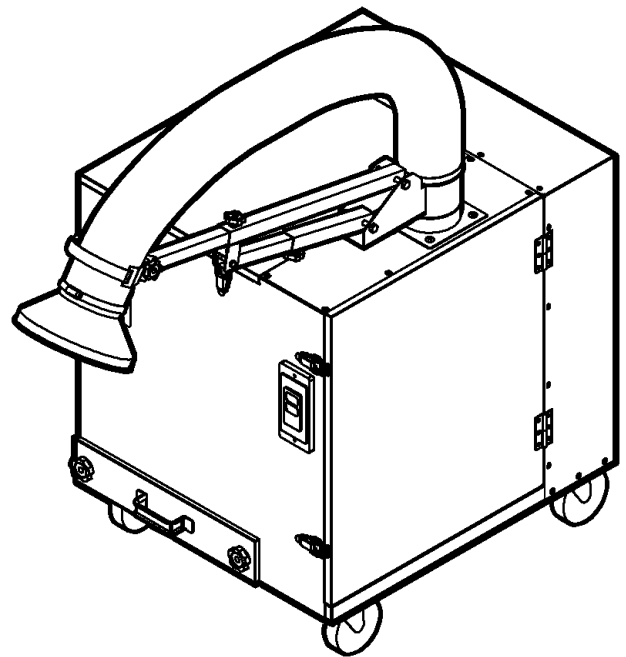
移動式ヒュームコレクター

SFC-M600-1V-5 (50Hz専用機)

SFC-M600-1V-6 (60Hz専用機)

取扱説明書

※乾いた溶接ヒューム吸引専用機種です



もくじ

1	安全のために必ずお守りください……………	1
2	仕様と外形寸法図……………	5
3	各部の名称……………	6
4	ご使用方法……………	6
	1. 組み立て……………	6
	2. 電源の接続……………	8
	3. 別売HEPAフィルターの装着……………	8
	4. 運転開始前の確認……………	9
	5. スイッチ……………	9
	6. 吸引物を捨てる……………	10
	7. 丸型フィルターの交換……………	11
5	火災時の消火……………	12
6	安全のための点検のお願い……………	13
7	こんなときは(故障かな?と思ったら)…	14
8	アフターサービスと保証について……………	15
*	アフターサービスのお申し込みについて…	15

本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必ず、必要なときに誰でもが読めるところに保管してください。

世界のブランド〈**Suiden** スイデン〉製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。

本機は防爆構造ではありません

1 安全のために必ずお守りください

ご使用前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、△危険・△警告・△注意の3つに区分しています。

しかし、△注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。




いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

△危険：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。




△警告：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

△注意：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。


注記：警告・注意以外の情報を示します。

絵表示の例		△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図は感電注意）
		⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止事項が描かれているものもあります。（左図は分解禁止）
		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な注意事項が描かれているものもあります。（左図はアースする）

●搬入・移動上の注意事項

△ 注意	
 搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 * 落下・破損などによりケガの原因になります。	 人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけがかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。 * 腰を痛める原因になります。
 リフトや走行クレーンで移送の際は、各免許所持者が移送する。 * 落下、破損などによりケガの原因になります。	

●試運転・運転の際の注意事項




△ 危険	
	<p>下記のもの絶対に吸引しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ガソリン、ガス、シンナー、灯油、ベンジン、接着剤、塗料などの引火性のある危険物。 ●アルミニウム、マグネシウム、チタン、亜鉛、コークス、カーボンブラックなどの爆発性粉じんおよび可燃性粉じん。 ●サンダー、グラインダー、高速切断機などから発生する火花を含む粉じん。 ●たばこの吸いながら、焚き木の残り火など高温のもの。 <p>* 火災・爆発事故の原因になります。</p>

⚠ 警 告

<p>! 本機は以下の漏電ブレーカー設置の電源で使用する。 定格15A、100V * 電気工事が必要な場合は、電力会社指定の電気工事業者に工事を依頼してください。</p>	<p>! 配線工事は電気設備技術基準および内線規定に従って安全確実に行う。 * 接続不良や誤った配線工事は、感電や火災の恐れがあります。</p>
<p>! 使用中に異音や異臭、吸引力の低下などの異常がある場合は、運転を停止する。 ● フィルターが目詰まりしたままの状態 ● 吸気口、排気口を閉塞して使用 ● 吸気口に異物が詰まった状態 ● 吸気ダクトが折れ曲がった状態 ● フィルターを装着しないで使用し、粉体や固形物が直接ファンモータに吸込まれロック状態 * 上記場合に運転を続けるとモータ過熱となり、火災や故障の原因になります。</p>	<p>⚡ アースを確実に取付ける。 * 故障や漏電のときに感電する恐れがあります。</p>
	<p>! 電源側と本体リード線の接続や、その他の分岐点の接続は、圧着端子ネジ締めで接続する。 * 接続が不完全だと、感電、漏電、火災などの原因になります。</p>
	<p>! コンセントは単独で使用する。 * 他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱、発火することがあります。</p>
<p>! 内部で火災や粉じん爆発が発生した場合は以下の措置をとる。 ● 直ちに本機を全停止する。 ● 自然鎮火するまで近寄らない。 ● 自然鎮火するまで扉、天板などを絶対に開けない。 ● 自然鎮火後、残り火を発見した場合、適した消火剤にて速やかに消火する。</p>	<p>! 使用前に必ず本機の外観上の異常（破損、変形、歪み、弛みなど）が無いことを確認する。 * 異常発生箇所によっては本機の性能が発揮できず、事故や故障の原因になります。</p>
	<p>! フィルターは正しく装着する。 * 装着が不十分な状態で作動させた場合、電装部に塵が溜まり火災や故障の原因になります。</p>
<p>⊘ 濡れた手で、電源プラグやスイッチ・配線などの電気まわりに触らない。 * 感電やケガの恐れがあります。</p>	<p>! 水平で、本体の質量に耐えられる十分な強度のある場所で使用する。 * 横転すると、ケガをする恐れがあります。</p>
<p>! 取扱いに不慣れな方の使用に際しては、適切な指示を行う。 * ケガや機器故障の原因になります。</p>	<p>⊘ 本機に水や油をかけたり、雨水のかかる場所で使用しない。 * ショートや感電、火災の原因になります。</p>
<p>⊘ 本機は屋内専用機です。屋外や水・油のかかる場所で絶対に使用しない。 * 感電事故や故障の原因になります。 使用後も必ず屋内に保管してください。</p>	<p>⊘ 電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 * コードが発熱して火災の危険があります。 必ず伸ばした状態で使用してください。</p>
<p>⊘ 電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みが緩いときは使用しない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>	<p>⊘ 電源プラグにピンやゴミを付着させない。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>
<p>⊘ 電源コード・電源プラグ破損の原因となるようなことはしない。 通路に置いたり、重いものをのせたり、無理に曲げたりしない。 * 断線による感電、ショート、火災の原因になります。コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。</p>	<p>! 電源プラグは、根本まで確実に差込む。 * 差込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。</p>
	<p>! 電源プラグの抜き差しは、電源スイッチをOFFにしてから行う。 * 火災や故障の原因になります。</p>
<p>! 延長コードは、適正な公称断面積のものを使用する。 * コードが発熱して火災の危険があります。</p>	<p>! 延長コードの長さは、電圧ドロップをしない規定電圧以内とする。 * コードが発熱して火災の危険があります。</p>





⚠ 警 告


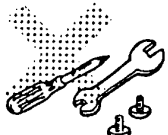




 <p>使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 * ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。</p>	 <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。 * 感電やショートして発火することがあります。</p>
 <p>電源プラグのホコリなどは、定期的に乾いた布で拭き取る。 * プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。</p>	

⚠ 注 意

 <p>動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源を切り、販売店に必ず点検修理を依頼する。 * 感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。</p>	 <p>キャスター4輪を全てロックする。 * フリーキャスターです。本機が不意に動くと思わぬ事故になる恐れがあります。移動時以外は常にキャスターロックしてください。</p>
 <p>定格電圧で使用する。 * 感電やショートして発火の原因になります。規定の電圧以外の電圧をかけないでください。</p>	 <p>各部のボルト・ナットを確実に締付ける。 * 振動でゆるみ、ケガや事故の原因になります。</p>
 <p>本機は掃除機・集塵機ではありません。溶接ヒューム以外は吸込ませない。 * フィルター損傷の原因になります。</p>	 <p>過給機を付加しない。 他の送風機と連結しない。 * オーバーロードの原因になり、モータ焼損による火災などの原因になります。</p>
 <p>湿度の高い場所で使用しない。 * 感電・火災・故障の原因になります。霧囲気湿度80%以下でご使用ください。</p>	 <p>温度の高い(40℃を超える)場所で使用しない。 * 火災の原因になります。霧囲気温度範囲は0℃~40℃です。</p> <div style="text-align: right;">  <p>温度0℃~40℃</p> </div>
 <p>吸気口や排気口に手や棒などを入れない。 モータ外扇に手や棒などを入れない。 * ケガをする恐れがあります。</p>	 <p>火気に近づけない。 * 本機の変形により、ショートして発火することがあります。</p>
 <p>溶接箇所吸込口に近づけない。 * 溶接箇所と吸込口が近いと、スパッタや火花などを吸引し、フィルターが燃える恐れがあります。</p>	 <p>締付け金具を開閉するときは、バネに注意する。 * 扉密閉のため強いバネを使用しています。手指のケガ防止のため手袋などをはめ、慎重に開閉してください。</p>
 <p>運転中、運転直後のモータは高熱なので触らない。 * やけどの恐れがあります。</p>	 <p>ダクトはたるみがないよう設置する。 * たるみにゴミが溜まると火災の原因になります。</p>
 <p>ダクトを踏んだり、急激に引っ張らない。 * ダクト破損による汚損事故の原因になります。</p>	 <p>ダクトは定期的に掃除する。 * ダクト内部に吸引物がたまると、火災の原因になります。</p>
 <p>本機に貼り付けている警告ラベル、銘板などは剝がさない。 * 安全な使用のための重要な情報が書かれています。</p>	

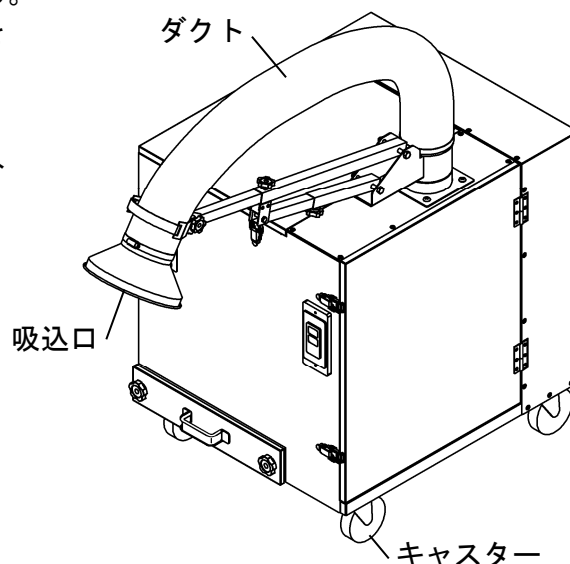
●保守・点検の際の注意事項

⚠ 警告	
 <p>保守・点検の際は、必ず電源プラグを抜く。 * 感電事故やケガの原因になります。</p>	 <p>保守・点検の際は適切な保護具を着用する。 * 感電事故やケガの原因になります。</p>
 <p>電源プラグのホコリなどは、定期的に乾いた布で拭き取る。 * プラグにホコリなどがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。</p>	 <p>長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜く。 * 絶縁劣化またはその他による感電や漏電火災の原因になります。</p>
 <p>水をかけて清掃しない。 シンナーなどの溶剤で拭かない。 * 漏電事故や故障の原因になります。</p>	 <p>使用前に必ず本体およびダクト内に粉じんが無いよう清掃する。 * 火災の原因になります。</p>

⚠ 注意	
 <p>修理技術者以外の方は、分解したり、修理を絶対にしない。 * 発火したり異常動作をすることがあります。</p> 	 <p>お手入れの際は、必ず電源を切る。 * 感電やケガをする恐れがあります。</p>
 <p>本機を持ち上げるときは、腰だけをかかめず必ず膝も曲げて持ち上げる。 * 腰を痛める原因になります。</p>	 <p>フィルターを交換するときは、電源が切れていることを必ず確認する。 * 感電、ケガの恐れがあります。</p>
	 <p>清掃の際、クレンザーなどの研磨剤や、金属タワシなどは使わない。 * 表面処理のはがれ、キズの原因になります。</p>

*****大切にご使用いただくために*****

- ① ご使用の際は、本機にダクトを装着して、ダクトの吸込口側は溶接ヒューム発生源の近くに置き、作業の妨げにならない位置でご使用ください。
- ② 吸込口は、溶接箇所から上方へ約30cmの位置にしてください。吸込口を、溶接箇所と高さが同じか下方位置にすると、十分な効果が得られません。吸込口と溶接箇所が近いと、スパッタや火花などを吸引し、火災になる恐れがあります。
- ③ キャスターは全てロックしてご使用ください。
- ④ 本製品は「溶接ヒューム専用」です。溶接ヒューム以外は吸引しないでください。
- ⑤ 本製品に水がかからないようご注意ください。
- ⑥ 吸込口が全閉状態や、ダクトにウエスなどの異物が詰まった状態およびフィルターが目詰まりした状態で使用しないでください。
- ⑦ 定期的にメンテナンスを行ってください。



2 仕様と外形寸法図

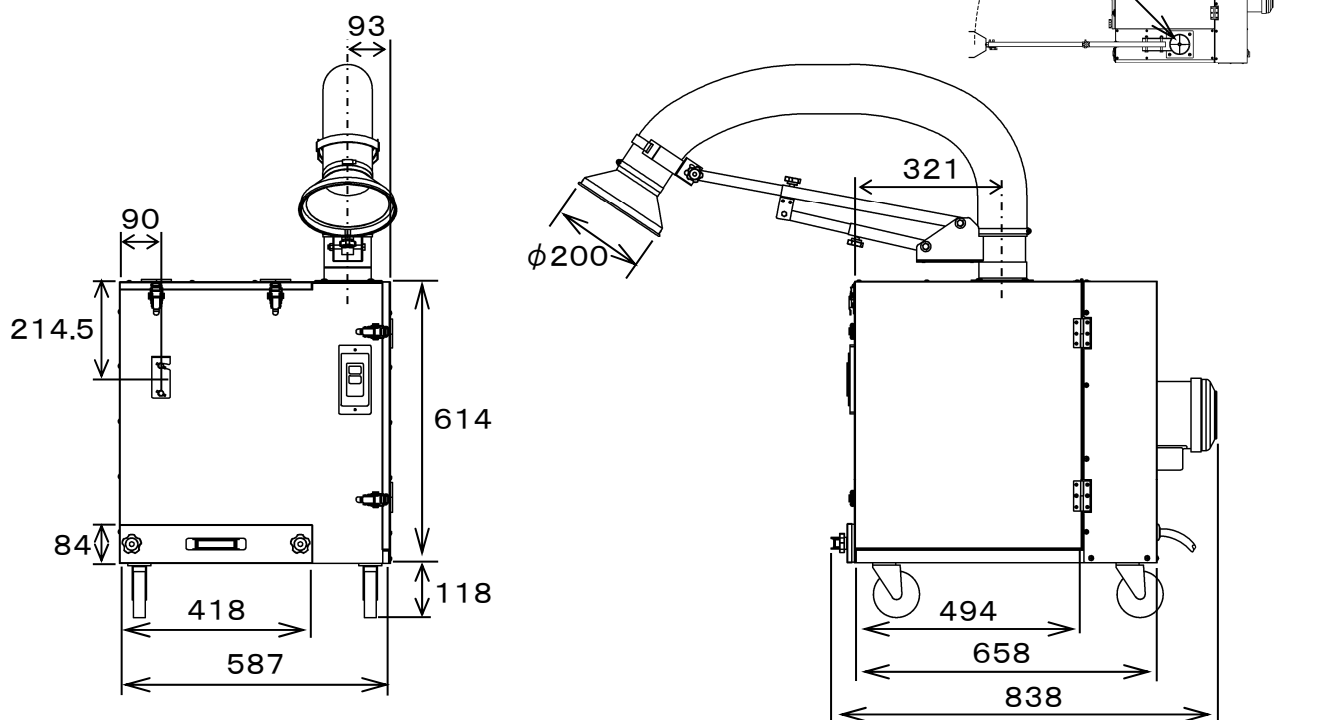
仕様表 ※専用周波数機種です。

品番	SFC-M600-1V-5	SFC-M600-1V-6
電源、周波数	100V 50Hz	100V 60Hz
電動機(出力、極数)	0.6kW 2P	0.6kW 2P
風量 (m ³ /min)	11.0	11.0
静圧 (kPa)	2.23	2.20
運転電流 (A)	7.6	8.6
消費電力 (W)	750	870
回転数 (min ⁻¹)	2880	3440
騒音値(注1)	75.0 dB	77.5 dB
サマール値	10 A	
フィルター面積	10 m ²	
ダストチャンバー容量	約1.8 L	
本体寸法	幅587×奥行838×高さ732 mm ※ダクト、吸込口、電源コード含まず	
電源コード	VCT2.0mm ² ×3芯×7.2m(プラグ付き)	
吸込口外径(mm)	φ200	
質量	84 kg	83 kg
付属品	・ダクト1本 ・ダクトパイプ1本 ・ダクトアーム1個 ・吸込口1個 ・ダクトバンド2個 ・面ファスナー1本 ・M6ネジ4個 ・φ6スプリングワッシャー4個 ・取扱説明書1部	
備考	スイッチにモータ保護装置内蔵	

(注1)騒音値は、本機にダクト1mを装着した状態で、本機前後左右の4方向に1m離れた4か所で測定した数値の平均値です。


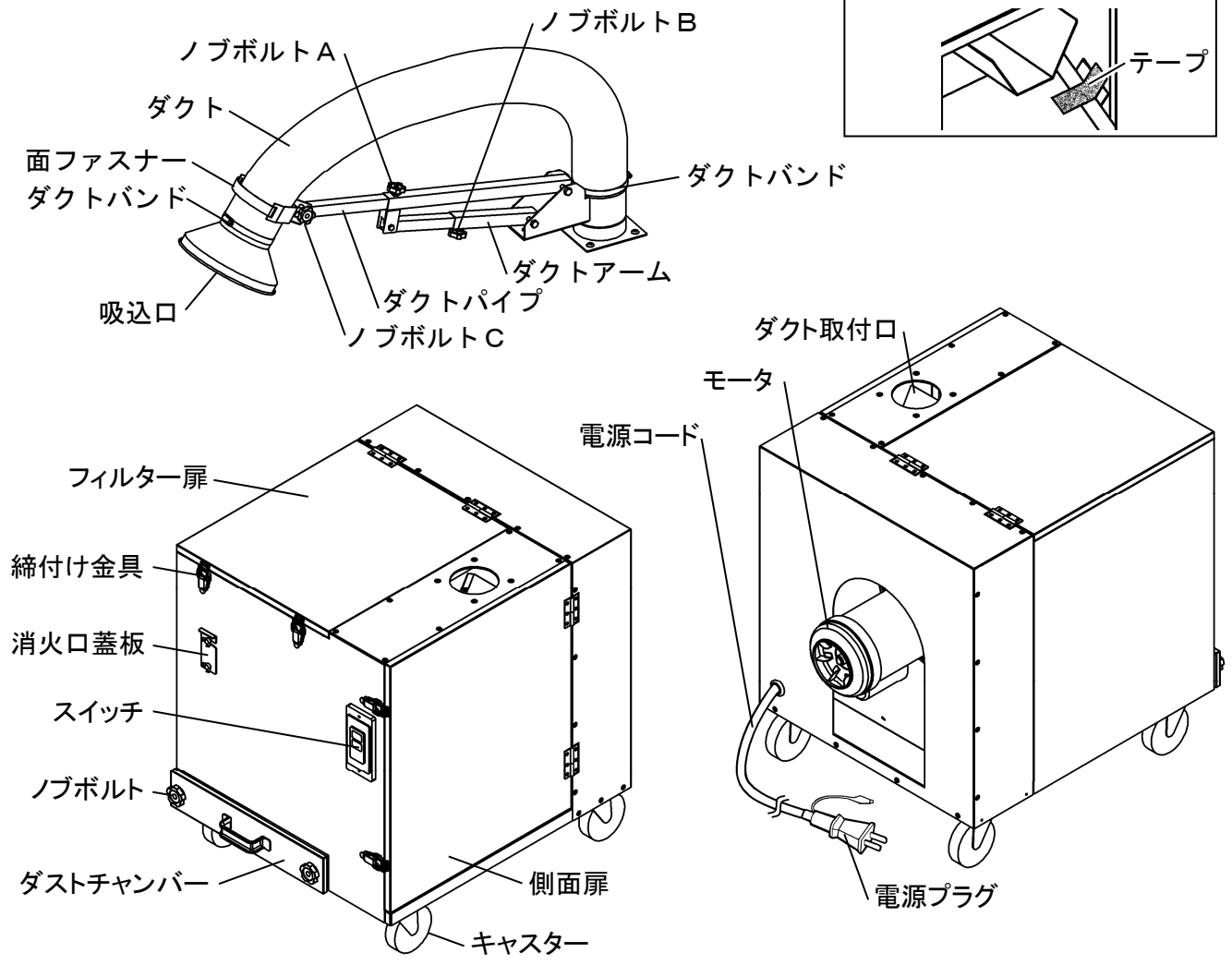
(注2)50Hz専用機種を、60Hz地域で使用すると故障の原因になります。

外形寸法図 (単位: mm)



3 各部の名称

* ご使用前にお願い*
衝突板（側面扉内）を固定して
いるテープをはがしてください。

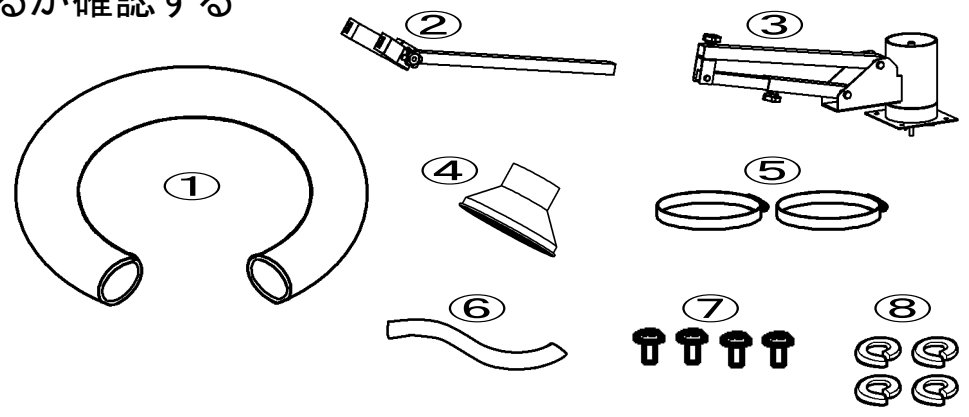
4 ご使用方法

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

1. 組み立て

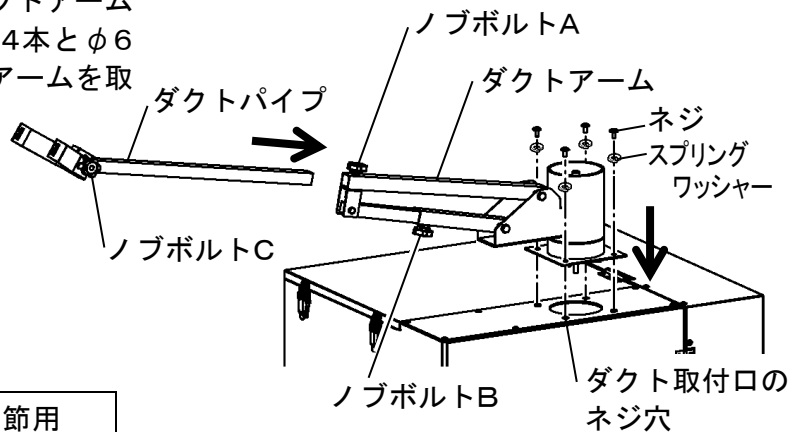
(1) 部品が揃っているか確認する

- ①ダクト…………… 1本
- ②ダクトパイプ… 1本
- ③ダクトアーム… 1個
- ④吸込口…………… 1個
- ⑤ダクトバンド… 2個
- ⑥面ファスナー… 1本
- ⑦M6ネジ…………… 4個
- ⑧φ6スプリング
ワッシャー… 4個



(2) ダクトアーム・ダクトパイプの取付け

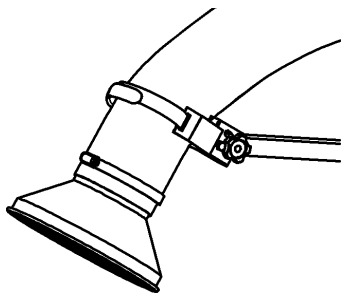
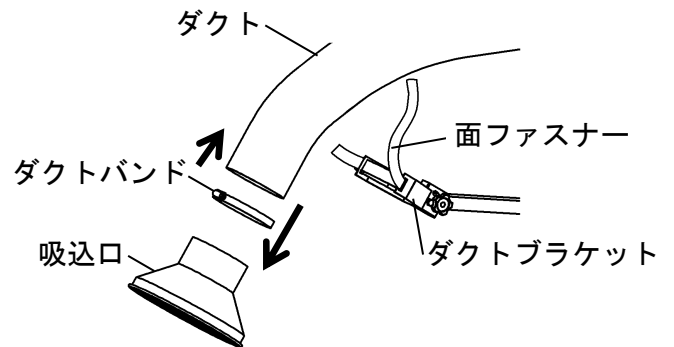
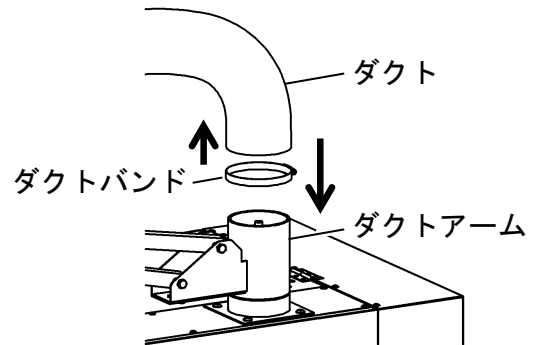
- ① ダクト取付口の4か所のネジ穴にダクトアームのネジ穴を合わせ、付属のM6ネジ4本とφ6スプリングワッシャー4個でダクトアームを取付けます。
- ② ダクトアーム先端のノブボルトAを一旦緩めます。
- ③ ダクトアームにダクトパイプを挿入します。
- ④ ノブボルトAで仮固定します。



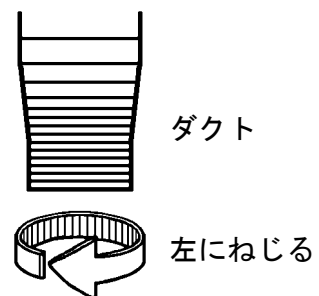
注記 ノブボルトA…アームの長さ調節用
 ノブボルトB…アームの角度調節用
 ノブボルトC…吸込口の角度調節用

(3) ダクトの取付け

- ① まず、ダクトにダクトバンドを通します。
- ② ダクトアームにダクトを差込み、ダクトバンドで締めます。
- ③ ダクトブラケットに面ファスナーを通します。
- ④ ダクトブラケットにダクトを載せます。
- ⑤ ダクトに面ファスナーを巻付けて仮止めします。
- ⑥ ダクトにダクトバンドを通します。
- ⑦ ダクトに吸込口を差込みます。
- ⑧ ダクトと吸込口をダクトバンドで締めます。ダクトと吸込口の間隙間ができないように、しっかり締付けて固定してください。



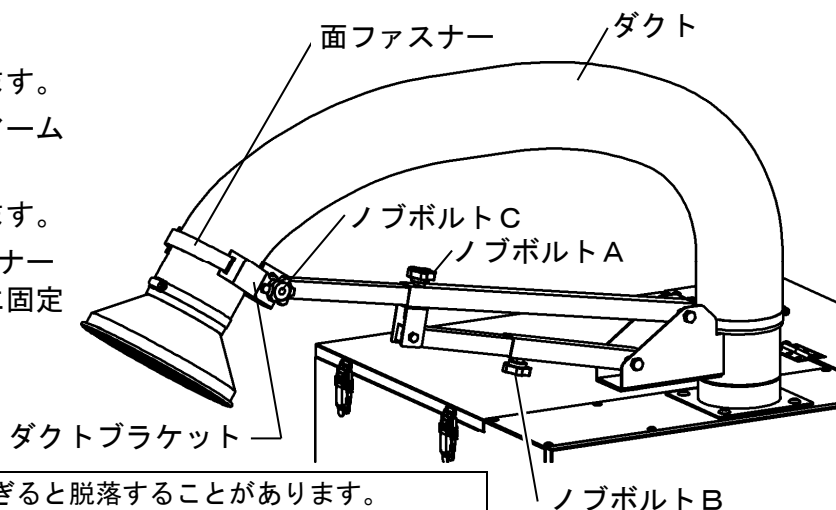
《ダクト口径を変化させる》
 ダクトを左にねじると口径が小さくなります。



注記 ①隙間が大きいときは、ダクトの口を左にねじって口径を小さくしてください。
 ②隙間があると、吸込み能力が低下します。隙間のないように固定してください。

(4)ダクトの固定方法

- ① ノブボルトA、B、Cを緩めます。
- ② ダクトパイプの長さやダクトアームの角度を調節します。
- ③ ノブボルトA、B、Cを締めます。
- ④ (3)で仮止めしていた面ファスナーでダクトをダクトブラケットに固定します。



注記

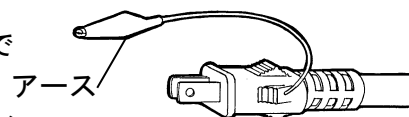
- ①ダクトパイプを伸ばし過ぎると脱落することがあります。落ちない程度の長さで調節してください。
- ②ダクトがたるまないよう調節してください。
- ③ダクト以外のものの荷重を掛けないでください。
- ④ダクトアームに必要以上の力を加えると破損の原因になります。

(5)ダクトについて

ダクトは消耗品です。ダクトの汚れや破損が著しい場合は交換してください。ご使用前には必ずダクト内の清掃をしてください。ダクトの設置の際には、たるみが無いように設置してください。たるみがある場合、ゴミだまりが出来てしまい、火災の原因になります。

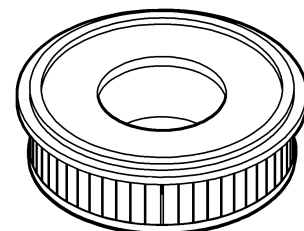
2. 電源の接続

- ① 電流値は10Aです。専用回路をご採用ください。電気工事が必要な場合は電力会社指定の電気工事業者に工事を依頼してください。
- ② アースを確実に取付けてください。アース線は、ガス管、避雷針、電話のアース線には接続しないでください。
- ③ 電源接続前に、本機の電源スイッチがOFFになっていることをご確認ください。
- ④ 電源プラグを電源に差込みます。
- ⑤ 延長コードを使用する場合は、公称断面積2.0mm²以上の延長コードをご用意ください。



3. 別売HEPAフィルターの装着

- 別売HEPAフィルターを追加装着すると、微細粉じんを捕集し排気をきれいにします。
- 装着方法は、別売HEPAフィルターに同梱している装着手順書をご覧ください。



4. 運転開始前の確認

⚠ 注意



使用前に必ず本機の外観上に異常(破損、変形、歪み、弛みなど)が無いことを確認する。
* 異常発生箇所によっては本機の性能が発揮できず、事故や故障の原因になります。

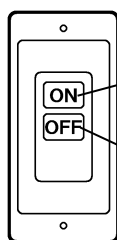
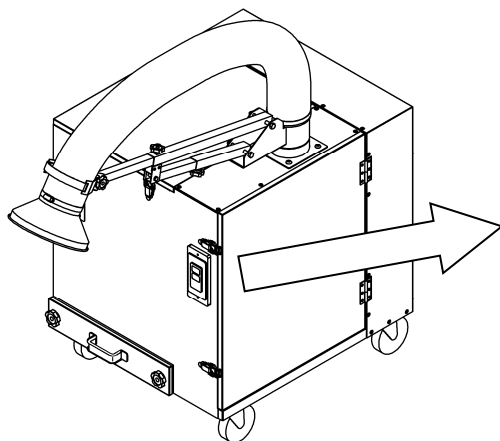


使用前に必ず本体およびダクト内に粉じんが無いよう清掃する。
* 火災の原因になります。

運転前に以下の内容を必ず確認し、問題がある場合は本機の使用を中止してください。

- ・全てのフィルターが正しく装着されていること。
- ・本体内に粉じん・堆積物が無いこと。
- ・本機の外観上の異常(破損、変形、歪み、弛みなど)が無いこと。
- ・フィルター扉、側面扉、ダストチャンバーのパッキンが剥がれていたり、変形、破損していないこと。
- ・フィルター扉、側面扉の締付け金具が全て確実に締まっていること。
- ・ダストチャンバーのノブボルトが全て確実に締まっていること。

5. スイッチ



ONスイッチ(黒色)・・・吸引を開始します。

OFFスイッチ(赤色)・・・吸引を停止します。

● サーマルスイッチ(保護装置)について

- ① スイッチボックス内に、モータ保護のためのサーマルスイッチが内蔵されています。過負荷運転を続けていると、保護装置が働いて電源を遮断し、モータ焼損を未然に防ぎます。
- ② 保護装置が働いた場合は、直ちにOFFスイッチを押して電源を切り、配線系統の異常やフィルターが破れていないかを調べて、保護装置が働いた原因を取除いてください。
- ③ 必ず原因を取除いてから、電源を入れてください。

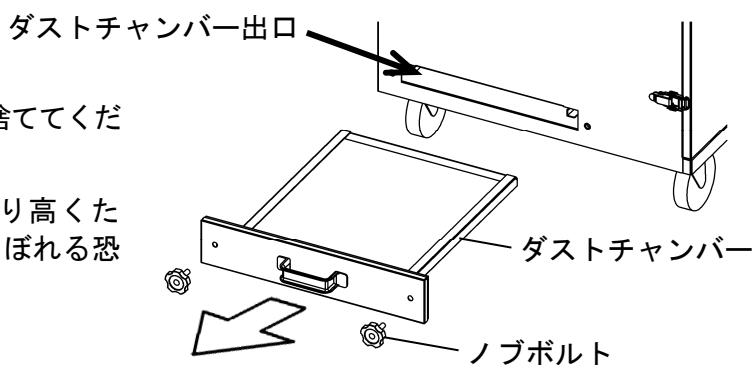
注記

- ①保護装置が働いた原因が取除かれていないと、再び保護装置が働きます。
- ②原因が取除かれずに繰り返し運転すると、モータ焼損などの原因になります。ご注意ください。

6. 吸引物を捨てる

適時、ダストチャンバー内の溶接ヒュームを捨ててください。

溶接ヒュームがダストチャンバー出口より高くとまると、ダストチャンバーを引出す際にこぼれる恐れがあります。



⚠ 注意



ダクトは定期的に掃除する。
*ダクト内部に吸引物がたまると、火災の原因になります。



吸引物を捨てる際は、適切な保護具（手袋、防じんマスクなど）を着用する。
*ケガをすることがあります。

注記

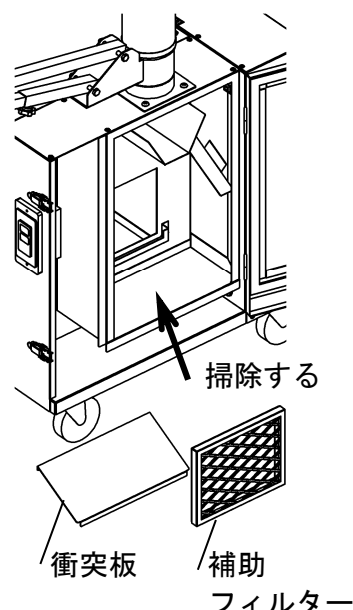
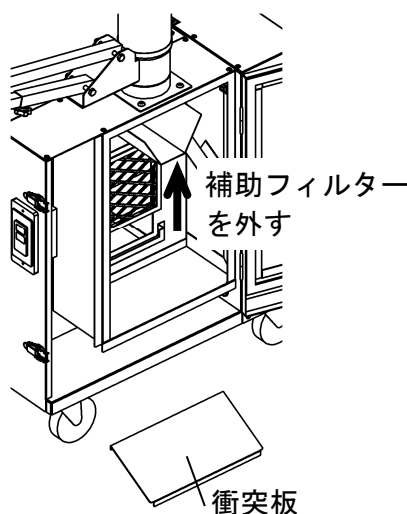
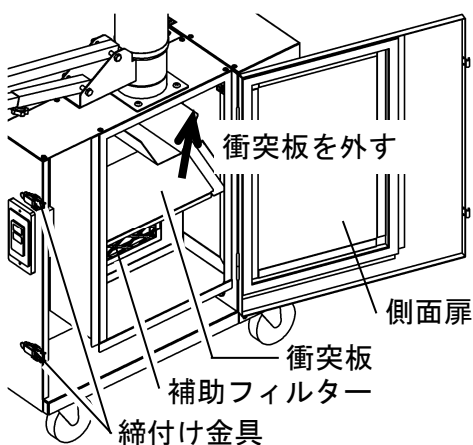
- ① 吸引運転後、すぐにダストチャンバーを引き出すと、本体内部で浮遊中の溶接ヒュームが出てくる場合があります。吸引後は、そのまま数分間おいた後に、ダストチャンバーを引き出してください。
- ② 溶接ヒュームを処理するときは、ダストチャンバーを床などにたたきつけないでください。
*ダストチャンバーが変形すると、吸引力低下の原因になります。
- ③ ダストチャンバーは正しく装着し、ノブボルトで確実に固定してください。
*装着の仕方が不十分で空気漏れがあると、吸引力低下やモータ焼損の原因になります。
- ④ ダストチャンバー内にたまった溶接ヒュームはこまめに処理してください。
*溶接ヒュームをためたままにすると、ダストチャンバーが引き出せなくなったり、内部でこぼれたり、吸引力低下の原因になります。
- ⑤ ダストチャンバー出口付近に溶接ヒュームが残った場合は、掃除して取除いてください。

《側面扉内のお手入れ》

- ① 締付け金具2か所を外して側面扉を開けます。
- ② 衝突板と補助フィルターを取出して、掃除してください。
衝突板を外し、補助フィルターは上向きに引き抜けます。
水洗いした場合は十分乾燥させてください。

注記

衝突板、補助フィルターを必ず装着してご使用ください。
装着なしの場合、火災につながる可能性があります。



- ③ 側面扉内を掃除してください。
- ④ 補助フィルターと衝突板を元に戻してください。
- ⑤ 側面扉を閉めて締付け金具2か所で固定してください。

7. 丸型フィルターの交換

注記

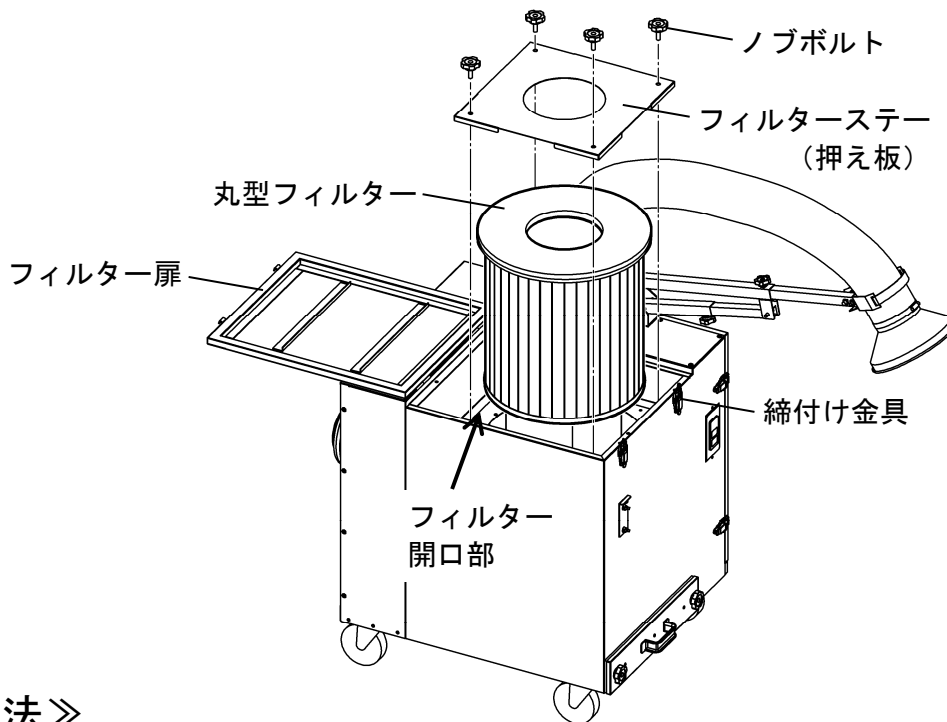
- ① 交換時は適切な保護具（手袋、防じんマスクなど）を着用してください。
- ② 丸型フィルター交換前に、エアブローなどで充分ちりおとしをしてください。
* 付着ヒュームが本体内にこぼれ落ちるのを防止するため。
- ③ 丸型フィルターは洗って再使用できません。破損や汚れがひどい場合は交換してください。
- ④ 丸型フィルターに追加して、別売品HEPAフィルターもご使用できます。HEPAフィルターは、 $0.3\mu\text{m}$ の微粒子を捕集するのに最適です。

破損したり、汚れにより著しく風量が低下してきたら、丸型フィルターを交換してください。丸型フィルターは水洗いやブラッシングはできません。水洗いなどを行うとフィルター破れ、捕集率低下の原因になります。

丸型フィルターの交換は必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。交換時は手袋・防じんマスク・防じんメガネなどの適切な保護具を着用してください。

《取出し方法》

- ① 締付け金具2か所を外してフィルター扉を開きます。フィルター扉は180°開きます。
- ② 丸形フィルターの内側からエアブローなどでちりおとしをしてください。
- ③ ノブボルト4か所を外して、フィルターステー(押え板)を取外します。
- ④ 丸型フィルターを取出します。
フィルター開口部に、溶接ヒュームなどがこぼれないようご注意ください。



《取付方法》

- ① 丸型フィルターを本体に入れます。
- ② フィルターステーを丸型フィルターの上に置きます。
- ③ フィルターステーと本体のボルト穴を合わせて、ノブボルト(4か所)を締めます。
フィルターステーと本体の穴が合わない場合は、丸型フィルターの位置を調節して合わせてください。
- ④ フィルター扉を閉めて、締付け金具で固定してください。

5 火災時の消火

安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

⚠ 注意



適切な保護具（耐熱手袋、防じんマスクなど）を着用する。
* やけど、ケガの恐れがあります。



フィルター扉や側面扉を開けて消火しない。
* 周囲の可燃物に引火する恐れがあります。

注記

- ① 捕集する溶接ヒュームに適した消火剤を手元にご用意ください。
- ② 火災発生後の機器は強度が劣化しています。本機の復旧および再使用はできません。

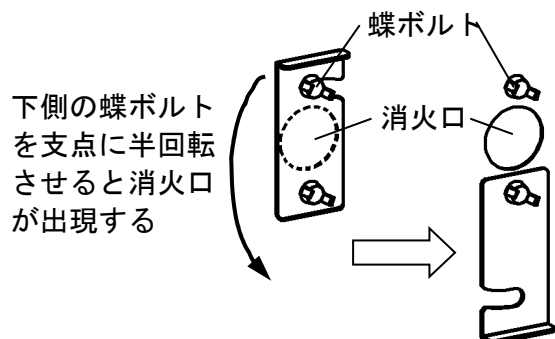
(1) 電源を遮断する

配電盤の配線用遮断器で本機への電源供給を遮断します。

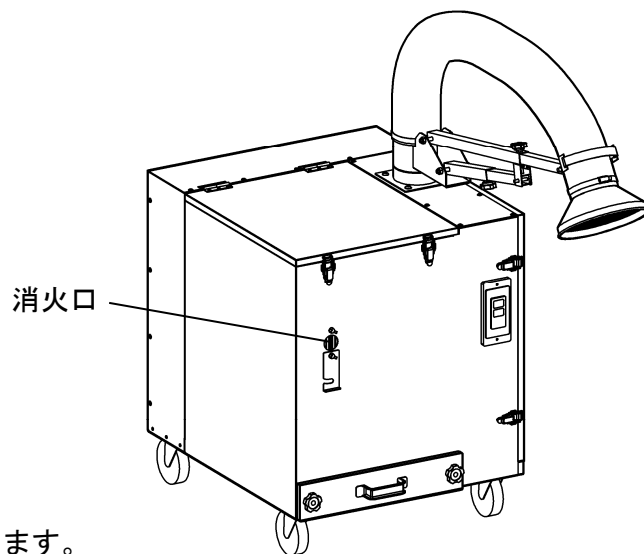
(2) 消火口を開く

蝶ボルトをゆるめて消火口蓋板を回転させて消火口を開きます。

※この時、消火口蓋板（蝶ボルトを含む）は高温になっている可能性があるため、素手では絶対に触らず、適切な保護具を使用してください。



下側の蝶ボルトを支点に半回転させると消火口が出現する



(3) 消火口から消火剤を投入する

二次的の火災を防ぐために消火口から消火剤を投入します。

(4) 鎮火を確認する

内部温度が常温まで下がってから、フィルター扉・側面扉を開けて鎮火できたか確認します。燃え残りなどを発見した場合は、消火剤を投入してください。

6 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

安全確保のため、下記を日常点検項目としてください。
 点検で不具合が見つかったときは、すみやかに処置を施してください。
 部品交換が必要な場合は、修理技術者または販売店へご依頼ください。

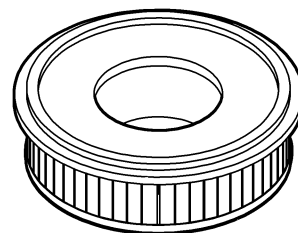
点検項目	処 置
振動や10度以上傾斜のある場所に設置していませんか？	水平で振動のない場所で使用してください。
電源(延長)コードは、傷んだり変形していませんか？	電源(延長)コードの交換が必要です。
電源プラグは、変形やガタがありませんか？	プラグの交換が必要です。
電源コードと電源部は正しく接続されていますか？	正しく接続してください。
電源コードと延長コードの接続部は、正しく接続されていますか？	正しく接続してください。
電源(延長)コードと電源プラグは、正しく接続されていますか？	正しく接続してください。
丸型フィルターは正しくセットされていますか？	正しくセットしてください。(11ページ参照)
丸型フィルターは破れていませんか？	丸型フィルターを交換してください。
ダストチャンバーに吸引物がたまっていますか？	吸引物を捨ててください。
フィルターパッキンは傷んでいませんか？	パッキンの交換が必要です。
締付け金具は正しく閉められていますか？	正しく閉めてください。
締付け金具に変形やガタはありませんか？	修理技術者または販売店へご連絡ください。
スイッチは正しく機能していますか？	
モータ回転音に異常がありませんか？	
ダクトは変形したり、破れていませんか？	ダクトを交換してください。
ダクト内に吸引物が詰まっていますか？	吸引物を取除いてください。
キャスターは、変形やガタがありませんか？	キャスターを交換してください。

*** 別売品のご案内 ***

・ HEPAフィルター

● 排気をきれいにしたいお客様へ

HEPAフィルターを本体に追加で取付けてのご使用をお勧めします。



7 こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

ご 確 認 く だ さ い		
症 状	調 べ る と こ ろ	直 し 方
作動しない (モータが回転 しない)	電源プラグと延長コードは正しく結線 していますか？	正しく結線してください。
	電源プラグをコンセントに差込んでいま すか？	電源プラグをコンセントに差込んでく ださい。
	電源プラグおよびコンセントの接触不良 ではありませんか？	接触不良を解消してください。
	電圧が低下していませんか？	昇圧機を導入するなど、適正な電圧で使 用できるようにしてください。
	サーマルスイッチが作動していません か？	電源を遮断し原因を取除いてください。 (9ページ参照)
	電源ブレーカーがOFFになっていま せんか？	電源ブレーカーをONにしてください。
	電源が供給されていますか？(停電など)	電力会社・電気工事店に連絡して対処し てください。
吸込みが悪い	延長コードの断面積が小さすぎませ んか？	適正な延長コードを使用してください。 (8ページ参照)
	丸型フィルターに異物が詰まっていませ んか？	丸型フィルターの異物を取除いてくださ い。
	丸型フィルターが目詰まりしていません か？	丸型フィルターを交換してください。
	ダストチャンバーに吸引物がたまりすぎ ていませんか？	吸引物を捨ててください。
	フィルター扉や側面扉、ダストチャンバ ーは密閉されていますか？	締付け金具を確実にかけてください。 ノブボルトを締めてください。
	パッキンが傷んでいませんか？	パッキンの交換が必要です。
	吸気ダクトの圧力損失が大き過ぎませ んか？(吸気ダクトの空気の流れが悪い)	適正な断面積のダクトを使用してくだ さい。 ダクトの曲げ部を少なくしてください。
	ダクト内部に異物が詰まっていますか？	ダクト内部の異物を取除いてください。
	ダクトがつぶれていませんか？	ダクトを交換してください。
	吸込み経路に穴や空気の漏れがありませ んか？	穴をふさいでください。 空気の漏れをなくしてください。
	運転中に異常音や 振動がある	設置場所の強度は充分にありますか？
ハネのバランスが狂っていませんか？		修理技術者、もしくは販売店にご連絡 ください。
モータのベアリングが損傷していません か？		

部品交換が必要な場合は、修理技術者または販売店へご依頼ください。
上記処置で直らない場合は使用を中止し、販売店に点検・修理をご依頼ください。

8 アフターサービスと保証について

⚠ 注意



当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。

- * 当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
- * 当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
- * 他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または当社お客様相談室にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後6年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より1年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証

取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。（日本国内でご使用の場合に限ります。）
ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

⚠ 安全に関するご注意

- 本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
- 本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

★長年ご使用のヒュームコレクターの点検を！

愛情点検



このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々運転しないことがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 本体が変形していたり、異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。

お願い
異常があれば
ご使用を
即、中止!!

このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店名	お買い上げ年月日 年 月 日
所在地	TEL
	FAX

≪製品の廃棄について≫ 本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。

スイデン商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へどうぞ！

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ 0120-285-240

Eメールでのお問い合わせは info@suiden.com

株式会社 **スイデン**

〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪 2-4-24 ホームページ <https://www.suiden.com>